

ロックアップ！町内探訪。

第22回／有限会社 栄進工業様 ～『モノづくりMind』の舞台裏～



▲念願のバチバチ☆ 大迫力に興奮！
半自動溶接と言うそうです。

一人一人が異なる仕事を担っているため個人の技術保有が不可欠ですが、そのための人材育成は努力と時間を要しますのでその点は難しさを感じます。

また、天候により作業を止めることはできないため、時に過酷な気温や状況の中での作業があり、社員の安全安心を守っていかねればならない点が大変です。

―大変なことは何ですか。

―このお仕事はじめてたきつかけを教えてください。

もともとは会長が関東で溶接を行う会社に勤めていて、自分では社を立ち上げてみたいという思いより地元に戻って個人創業しました。その後、職人仲間が徐々に集まって今の規模となっております。

―どんなお仕事をされていますか。

鉄、ステンレスを材料に金属加工とお客様の会社での組み立てを行っております。プレキャスト工法という工場部品をある程度で、現場で組み立てる方式で製品を作っています。これまで工場内部の設備、ダムの監査路、橋を支える部分などを製作しました。

近所の散歩の途中で目に飛び込んできた、花火を彷彿とさせる眩しい閃光。ぜひ近くで見たい！そんな好奇心を快く受け入れてくださいました栄進工業様にロックアップ☆の代表取締役の桜井英司さん、総務部長の細越真奈美さんから小学生インタビューアールともにお話をうかがいました。（取材：しの）



▲集合写真。皆さんポーズを取ってくださいました。忙しいところありがとうございました。

―もものづくりの良いところを教えてください。

完成したときにお客様に喜んでもらえることが一番です。長くお付き合いいただいているお客様からのお褒めの言葉も非常にありがたいです。新規のお客様に「栄進（工業）さん」をお願いしてよかったです」と言ってもらえる。我々の技術が認められてもらえていると感じ本当に嬉しく思います。

―もものづくりの良いところを教えてください。

製品が完成したときですね。短い工期では一か月などですが、半年かかることも珍しくはないので、事故もなく作業が完了するたびに「無事に終わってよかった」と心から嬉しく思います。

栄進工業様は技術集団としてのプライドとアットホームさが共存するとても素敵な会社でした。これからもどうぞ安全に！



▲後日送っていただきました工事の様子です。集合写真後ろの製作物が赤丸部分の上部の台です。脚の部分は現場での組立とのこと。すごい！



―（おまけ）会社の名物社員さん教えてください。

桜井さんのイチオシは細越さん。インタビューの学生さんの作業風景を撮影し、ミニアルバムを作ったり、親御さんに様子を知らせていたり、会社のバーベキューで味も見た目もおいしい料理を社員全員にふるまったりと、皆さんへの思いやりがあらゆるエピソードをうかがえました。教わったレシピ、今度試してみます！



▲桜井さん、細越さん、貴重なお話をありがとうございました。

=Data=
（株）栄進工業様
八戸市市川町
字くご谷地
64-3
昭和58年5月
個人で創立
昭和60年6月
（株）栄進工業
設立

編・集・会・議

今年度は広報委員を務めてみて、これまで以上に撮影する機会が増えたこと、また普段見ない我が子の表情や他の子どもたちの表情を見ることが出来た事が嬉しく微笑ましかったです。これからコロナと闘いながら全集中で子どもたちを見守って行きたいと思えます。（三浦）

子どもも大人もハマった「鬼滅の刃」の映画。そう「無限列車編」を、冬休み中のある日によくやく娘と見るのが出来た。映画は映像がきれいだし内容もハラハラドキドキとしてシーン。とても楽しめたひとときでした。（松田）

―今月号もお読みいただきありがとうございました！



.....表紙物語.....

コロナ禍で始まった今年度、特に六年生の皆様および保護者の皆様は、昨年度と違う形で小学校生活最後の年を過ごされることにたくさんの戸惑いを感じられたことと思います。

今までもあった他愛のない風景は明日もあるとは限らないという切に感じた日々でした。

学校再開の二期。ちよつとだけ雰囲気を変えた学校は子どもたちのパワーを変わらず受け止めてくれました。この学び舎を旅立つ六年生の皆様に素敵な未来が訪れますように。（しの）

初めて広報委員を務めさせていただき、以前から思い描いていた記事を作ることが出来ました。その名もスーパーウーマン!! 榎野小学校の保護者にスポットを当てて身近に感じ親近感を持って記事を作りたいと思っていたので、今回実現させていきたいと思います。（関川）

広報委員会は何故人気がないのか？の疑問から、広報委員に入り活動させてもらった。広報って「センスだ」と思う。『良いデザイン』と自分の力量以上を望むと辛くなる。だから、日々きれいなものをキレイだと感じ、楽しいと笑ってセンスを磨く。そして、広報ほど楽しい委員会は無いと思う。（相馬）